

令和4年2月10日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 12時 00分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 野谷 悦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 黒石 徳子 |
| 教育総務課長 | 下條 博史 |
| 教育総務課長代理 | 田中 明夫 |
| 生涯学習課長代理 | 竹本 直昭 |
| 教育総務課指導班長 | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長 | 大木 健司 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 1名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和3年度2月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

野谷委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 1・2月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(岡野委員) 特別支援級のオンラインの交流は、子どもたちの積極的な様子を見て、やはり継続すべきなのだろうと感じたので、今後も積極的に続けていただきたいと思います。他の市町村とオンラインで交流して幅を広げることは、オンラインがゆえにできることの一つだと思いますので、交流の可能性を探っていただきたいと思います。

最近の外国語の教科書を読むと、場面設定がとても重要であると痛感します。登校のシーンから始まり、教室に入るような日常生活の中で英語がこういうふうに使われているんだ、こういうふうに英語を活かしていくんだ、と理解しやすいと思いますので、みんなで共有しながら今後も続けていただきたいと思います。

(指導班長) 小学校では、大磯町と二宮町の合同でクリスマス会を実施し、少しずつ他市町村との交流の取り組みは広がりつつあります。

(教育長) A L Tの業者を選定するにあたり、業者には場面設定をした授業をするという条件をつけました。あと、2月2日の児童・生徒安全対策協議会の報告をお願いします。

(教育総務課長代理) 今年は、八街市の事件があり、通学路点検を夏休みに教育委員会、町の都市整備課と防災安全課、警察の方、各学校の管理職と担当教員で実施し、2月2日の児童・生徒安全対策協議会では、地区の方も出席していただき共有しました。また、不審者情報が今年度は例年に比べて2割ほど多くあり、心配する声をいただきました。情報が流れたときは、小学校ではマチコミメールを通じて保護者に流し、中学校では帰りの会等で生徒に情報を流しています。また、地区長さんにもマチコミメールの登録をいただいていますので、地区の方にも情報提供をすることにしています。

(教育総務課長) 八街市の事故の影響もあり、今年は交通安全の問い合わせが非常に多い年でした。協議会の中で出した資料は、各学校が危険箇所として認定したポイントを緊急点検して、都市整備課が道路を直したり、警察が信号機設置の検討などを協議しています。協議会から、他の方に情報が届かないという話も聞かれましたので、今年は会議資料をホームページで公表していく予定であること、P T Aの方など学校関係の方に学校内で

の取り組みを紹介して欲しいことをお願いしています。保護者にも意識を持っていただき、危ない箇所の情報は学校を通して、教育委員会が把握し吸い上げていることをご理解いただきたいと思います。

(渡辺委員) 子どものクラスが学級閉鎖になり、タブレットを持って帰りました。朝にホームルームをし、日中も時間を決めて集合をすることで、1日の中でメリハリができていたように思いました。子どもたちも先生方も慣れていて、高学年や中学生だとさらに授業に近いものなのだろうと思いました。

(野谷委員) 二宮小学校の様子を見てみると、子どもたち同士で使い方を教えあったりして、終わってもなかなか切りません。子どもたちで繋がりたいという気持ちが全員にあり、実現しつつあるということがうれしく思います。

(教育総務課長代理) 中学校で学級閉鎖になったクラスの音楽の授業では、先生が縦笛の見本を吹き、その後オンライン上で演奏をしています。学級閉鎖になっても、ほとんどの授業をオンラインでしました。

(岡野委員) オンライン授業には不登校の子も参加していますか。

(教育総務課長) 山西小学校のオンライン授業の様子を視聴しました。新型コロナウイルス感染症に罹った児童もオンラインで参加したり、不登校の児童もオンラインだから参加できたという声もあったので、オンラインの良さがでました。また、先生自身のお子さんのクラスが学級閉鎖になったため、出勤できないため、先生が自宅から学級にオンライン授業をしたという例もあります。その一方で、オンラインに慣れすぎると、学校に行きたくないというお子さんが増えてくるのではないかと懸念があり、これから注視していかなければいけないところだと思います。

(教育長) オンラインと対面の選択性で再開した大学では、雨が降ると外出するのが面倒くさいという理由でオンラインが増えているそうです。小中学校の子どもたちも面倒くさいという理由で登校しなくなってしまうことを心配しています。子どもは、体験することや人とつながっていくことが大事です。様々な事情で学校に登校できない子どもがオンラインで繋がれることは良いことですが、可能な限り学校に集まり、仲間同士で触れ合うことも大事ことです。

(岡野委員) ICT環境をそろえるのはとても大変だったと思います。その環境をそろえるために尽力してくださった担当職員に大変感謝します。

(教育総務課長) 学校も担当職員へ感謝を口にしていきます。他の市町村では容量の問題で止まってしまう事象があったりしますが、二宮町では途中で止まるような不具合が起きていません。

4 付議事項

(1) 議案第21号 二宮町立学校の教育職員の業務量の管理に関する規則について

(教育総務課長) 二宮町立学校の教育職員の業務量の管理に関する規則について資料に基

づいて説明

(野谷) この規則は国の改正に伴っていますが、近隣市町村との協議はありましたか。

(教育総務班長) 近隣市町村との協議はありません。2年前に神奈川県から各市町村で定めるよう話があり、各市町村が独自に作成することになりました。雛形や県の規則を参考に各市町村で作成しています。

(教育長) 時間数は1か月45時間と県のガイドラインで定められています。二宮町では出退勤カードで管理を開始し、毎月報告してもらいます。先生が時間外を減らそうと努力していることはよく分かります。100時間を超えるようなときは、教育委員会から各学校に指導することになっています。

(岡野委員) 授業の準備に時間を取られることに対して、どのような対策が考えられているのでしょうか。

(教育総務課長) 100時間を超えている教職員のいる学校長とヒアリングをしました。学校校務の分量を職員同士で平均的になるようにしたり、不要な会議を減らしています。もっと良い授業をしようと教員の時間外が増えているため、校長先生としても良い授業をしなくてもいいとは言えないので止められず、難しい状況です。その中で、指導案や教材などをGoogleドライブに貯めて、みんなで共有していこうとしています。人の指導方法を学びながら、引用していければ、時間外の圧縮にもつながると考えています。

(教育総務課長代理) Googleドライブで正常に動くのかを試していて、情報教育担当者を中心にフォルダ構成について意見を貰っているところです。当初は、学年ごと・教科ごとにかなり細かく分けようとしたのですが、小中学校の繋がりが分からないとフォルダの下の方に埋もれてしまい見ないんじゃないかと意見がありました。そこで、教科ごとに学年や単元で分け、フォルダに入れば小学1年生から中学3年生までの取り組みが一覧で見られるようなルール作りを始める段階でしておく、その後有効活用できるのではないかと意見を貰っていますので、今年度中には、運用を始めていきたいと思っています。

(岡野委員) 先生がそれぞれこだわりを持ち、過去の資料ではなく、自分はこういうものを追加したいという思いはあると思います。そういうものを天秤にかけられて、時間外とクオリティを上げたい思いがぶつかっていくんだらうと感じています。一貫教育になったときに小学校の授業の組み方と中学校の授業の組み方の違うと聞いているので、小学校と中学校の授業のつながりの部分である4・3・2の3の部分のカリキュラムと密接につながっている話だと思い、何か対策を打つことが必要ではないかと感じました。

(渡辺委員) 単級の学校と複数学級の学校では、複数学級の方が先生の負担が減ると思っていますが、学校の規模の中で、業務時間短縮に繋がるような改善ができないのでしょうか。

(野谷委員) 学校では、授業、児童生徒指導、給食、教科など様々な仕事があります。担当1人が3つ4つの仕事があるため、業務量も多いです。単級の場合、次の授業でどんな展開しようかと相談する相手がいません。特に若い先生は、悩みを相談できる先輩などがいれ

ば、精神的にかなり楽になります。やはり小規模の学校の先生は大変だと思います。

(教育長) 山西小学校一色小学校もグループの中で、オンラインを使って、一層の協力と共用ができればいいと思います。

(教育長) 委員に議案第 21 号について諮る。
委員全員賛成により、議案第 21 号は承認される。

5 報告・協議事項

(1) 令和 4 年度二宮町教育委員会基本方針について

(教育部長、教育総務課長、生涯学習課長代理) 令和 4 年度二宮町教育委員会基本方針について資料に基づいて説明。)

(野谷委員) P6の部活動改革の方向性の整理については、費用の問題や実際に指導する者がいるのかなど様々な問題がありますが、ぜひともこの改革を頑張っていただきたいです。

P7 (4) ①長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修の中で、2つ目の『各校の体育館にLED照明を導入し、SDGsの実現に向けて地球環境に配慮した学習環境の方を目指します。』について、LEDは分かりますが、長寿命化計画で他に何ができるのか何かありましたら教えてください。

P8 (1) ④郷土愛の育成については、『地域教材等を活かした副読本の研究を進めます』とありますが、具体的に何か計画はありますか。

1:11:47 (教育総務課長代理) 改定作業が来年度と再来年度の2年あり、社会科の副読本を小学校の教職員も加わり、改定作業をしているところです。また、新たに社会科プラス総合的な学習時間で使えるような地域教材等を入れられないか、また、冊子ではなく、電子データという案も出ていますので、検討して進めている状況です。

(教育総務課長) 長寿命化計画については、計画を今年の4月に公表をし、それに基づいて、学校施設を今後20年程度は健全を保つための保全をしていくと決めています。その中で、今後5年程度で取り組んでいくことは、Dランク判定を受けた非常に状態の悪いものから、順番に優先順位をつけて、改修等をしていくこととなります。SDGsについては、修正をします。

(藤原委員) P13④社会教育関係団体との連携について、PTA連絡協議会で具体的に考えていることがあれば教えてください。P14の社会教育に関する情報発信の強化ですが、コロナ渦の中でのイベント開催を疑問視する方も、感染症対策をしっかりとしているので発信すべきという方もいると思います。実際開催している内容をどのくらい発信するのか、方針や考え方を教えてください。

P11の文化芸術の振興・支援について、単なる発表の場として芸術を使うのではなく、

芸術文化に触れ、刺激を受けることが、子供にとって教育的にも非常に意義があります。そういう場として芸術を使い、一緒に作ることで、そういう視点が感じられるようになってくるといいなと思います。

(生涯学習課長代理) P13 社会教育団体との連携については、これまでPTA連絡協議会と生涯学習課の関わりは、補助金を交付するのみで、活動に対する具体的な支援が不足していたと考えています。生涯学習課には、他自治体や国県などからの情報が入ってきているので、情報を提供し、事業の参考にしていただければと考えています。

ホームページによる事業の情報発信については、基本的に情報発信が弱くならないよう取り組んでいます。やっていることを発信しないと、かえって心配を抱かせてしまう恐れがあるので、様々な情報を出すことで安心していただこうと考えています。

(岡野委員) P10にある学校ホームページがスタートして、2年経ちました。学校によって特色が出てきていますが、ホームページの更新頻度や中身の充実で学校の違いがあり、課題だと感じています。しかし、それに時間が取られてしまうのは、働き方改革もあるので、難しい問題です。

(教育総務課長) ホームページの更新頻度が高い学校ほど時間外が多い現状はあります。学校長自らどんどんブログを上げたり、担当者に任せている学校もありますので、ホームページでの情報発信に熱心な人が異動すると、異動先の学校ホームページが頻繁に更新されるようになることはあります。教育長も校長会で、地域への情報発信は大切であることを言われていますので、浸透しつつあります。また、コミュニティ・スクールの取り組みの中で、地域にホームページの更新が得意な方がいたら、ぜひ協力してもらおうように声をかけています。学校は情報をどこまで発信するのかを考えているので、コミュニティ・スクールがホームページの更新をしている事例もあるので、そういった情報提供していきたいと思えます。

(岡野委員) 学校の中の情報発信は、授業の中身など日々変わっていくものと、給食や花壇の草花のような定点観測で1年間同じ内容のものがあると思います。定点観測はそんなに手間をかけなくてできるものですし、情報発信があると地域から学校の中もみえてきます。最終更新日を直近することは必要だと感じています。

P11の湘南二宮バーチャル郷土館は、展示物の写真で見せていますが、最近だと訪問者の目線に立ち、施設内を紹介するものもあります。ふたみ記念館も外から見た建物と施設内に入って回ったときの違いもありますので、色々な紹介の仕方や見せ方の工夫があると思えます。

(生涯学習課長代理) 今後、研究していきます。

(教育長) 町ホームページの改定が来年度ありますので、その際にふたみ記念館や図書館ホームページを町ホームページに取り込めることができたらと考えています。また、学校ホームページには、町ホームページから段階を踏まないといけない状況になってますので、もう少し簡易にできたらと思っています。また、マチコミメールを各学校で活用していますが、

お休み報告やアンケートなどの機能もあるので、研究して活用してほしいと思います。

(渡辺委員) P4～P15③ I C T環境を活用した学びの充実について、『多様な子どもたちの情報活用能力』が加えられていますが、合理的配慮や、I C T環境が現場に浸透したことで、今まで現場では対応できなかったことが、対応できる素地が整えられてきたということでしょうか。

P10 (5) 学校給食センターにおける取り組みについて、昨年度まではあった『心のこもった手作りの給食』という文言が無く、修繕問題だけの内容になっています。小さい子どもがいる家庭では、給食に対するアプローチを結構しているという話も耳にするので、食の大切さが分かるような一文を残していいのではないのでしょうか。

(教育総務課長) P10の給食については、文言を消さずに残します。

P5については、子どもたちの情報活用能力と工夫する志向の育成が、生きる力の一つと書いて書いたことと、そこに多様を入れてしまったので、一括りになっている表現になってしまっています。インクルーシブの部分でも、オンラインやタブレットを活用する意味で、例えばディスレクシアのお子さんにはタブレットの音声での提供などがあります。

修正する箇所があれば、今月中に連絡をお願いします。

(2) 二宮町小中一貫教育推進計画(案)について

(教育部長) 二宮町小中一貫教育推進計画(案)について資料に基づいて説明。

(岡野委員) P34の6・3制から4・3・2制への変更の中で、4・3・2制に入学式卒業式が残っていますが、P38では、4で二分の一成人式、3で立式式など節目でイベントを入れ、子どもたちが自ら企画し自分の成長を確認できるよう取り組みます、と書いてあるので、合わせた方が良いでしょう。

12月議会の議員だよりの中で、20年間は5校を保つとありましたが、今のまま変えずに行くのか、長寿命化計画をやって付帯として、建物5校を残していくのか、どちらなのでしょう。

(教育部長) 当面の間は5校を維持していき、20年間は一体型に向けて含めて検討し、必ずしも5校で20年保つという考えではないです。

(岡野委員) これからの二宮町は、施設分離型のカリキュラムの連続性に集中して取り組むという趣旨であると理解しています。その先には一体型として4・3・2制で9年間の一貫教育をやり、6・3制から切り離されて、別の発想として学校システムを作ることを目指すと思いますが、4・3・2制の区切りで、どういう機能を割り付けるのか、最終ゴールの中身があまり示されていないと思います。4・3・2制という文字がP50以降触れていないので、その辺のビジョンみたいなのを正確に示したほうがいいかなと感じています。特に他校を視察したとき、どういう視線で視察先から知見を得てくるのか、何を学んでくるのかに直結する話だと思います。今の6・3制の授業のカリキュラムを通じて、別々の場所にな

がら連続性を先生が工夫を積み重ねて、続いていくことなんです。府中学園と大原学院の冊子では、4・3・2制の3の部分で先生が小中学校の違いを乗り越えてつなげていくのかに一番ページが割かれていて、そこが胆で一番時間がかかり、乗り越えるのに10年かかったと書いてあるので、先生が苦勞される部分だと思います。2つの学校で同じところが時間がかかり、大事であると書いてあるので、なぜ時間がかかるのか、最終的に4・3・2制にすることのメリットや狙いを丁寧に説明したほうが良いと感じています。

(教育部長) この計画にどこまで細かく書くのかもありますが、基本的なことが柱になると思います。P34の二宮町の考える小中一貫教育では、施設分離型でも施設一体型でも小中一貫教育をどう考えているのかを示していくところと考えています。P38に6・3制から4・3・2制については、分離型での課題、乗り越えいくところをクローズアップしてところだと思っています。

(岡野委員) P38を読むとおまけのような内容に思います。一番コアなので、クローズアップしてほしいと思います。

なぜ4・3・2制にしなければならないのか、なぜ3が重要なのかを理解した上で、その仕組みを活かすような学校づくりが最終的には必要になってくると思います。そのために教室の配置がとても大事な要素の一つで、単に1年から9年を順番に配置すればいいわけではないと感じます。府中学園の校舎のつくりは、前期ブロックと後期ブロックが同じフロアに配置するように施設一体型ならではの配置をしています。

吉新先生が取り組まれている一貫教育は、土台の部分なので、充実させて、固めてもらいたいです。そのうえに4・3・2制のシステムを乗せるかを今のうちから共有していけたらと感じます。

(教育長) 教育の中身については、吉新先生の誰一人取り残さないということで、押し進めています。教育委員会として、20年後に施設一体型を目指すためのプロセスを地固めしていけないといけません。どういった形のゴール施設が相応しいのかを今の段階から考えていかなければならないと思っています。今まで、教育委員さんたちと勉強会を開かせていただきましたが、勉強会から研究会にして、考えていただければと思っています。P51に施設一体型の設置に向けての課題検討を11項目出していますが、まだ足りないところもあると思いますので、検討すべきところを令和5年度開始の小中一貫教育の進行と合わせて、少しずつ話し合っていけたらと思っています。

(野谷委員) P51の11項目の課題については、先進校の視察や話し合いの中で新たな課題も出てくると思います。課題を立ち止まって考えることは必要ですが、立ち止まっていると全体的な見通しが進みません。人口推計から20年後に子どもの人数が減っても、必要な約27,000㎡を確保できる広さが東大跡地しかありませんが、東大跡地で様々な団体が活動していますので、早い段階で教育委員会としての意志を示す必要があります。令和5年度から分離型の小中一貫教育が始まるので、一体型への過程を示す必要があります。

(教育部長) 場所については、とても重要で東大跡地は候補地の一つです。令和9年度ま

では団体が使用していますが、それ以降は決まっていません。これから継続的に研究していきたい、町・町民へ意志を示すことは早めにしていきたいと考えています。

(岡野委員) 府中学園と大原学院の両方に書かれていることは、分離型でやっていくと、カリキュラムはつながるけど、学校のシステムとしては、6・3制に戻るので要注意であると書かれています。具体的には、シャーペンをいつから使うのか、しかも決着がつかない、赤白帽子をどうするのか、休み時間や中休みをどうするのかなどに時間がかかると書かれています。そのためにスタートを早くして、文化の違いを乗り越えていただく必要があります。時間がかかることは、成果に直結するところで、4・3・2制の3に直結する部分でもあります。

(教育総務課長) 修正する箇所があれば、今月中に連絡をお願いします。

(3) 令和4年度小中学校給食実施計画表について

(教育総務課長) 令和4年度小中学校給食実施計画表について資料に基づいて説明。

(4) その他

(指導班長) 二宮町立学校における医療的ケア実施に関するガイドラインについて資料に基づいて説明。

ー 次回教育委員会予定 ー

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

(岡野委員) 先月に指導班長からご紹介いただいた絵具の授業について、3色だけで色々な色を出し、みんながそれぞれ違う意見を取り入れながらというところがすごく良かったと思っています。シンプルであるほど、みんなの考えの違いが出てくるので、様々なところで組み込んでいただきたいです。テレビのディスプレイの仕組みや車のヘッドランプなどの身近なものとの繋がりが活かされています。実際の社会では特別に難しいことをやっているわけではなく、教科書に出ていることがスタート地点になっていること、要は学校の授業でやることと実践の社会で使われていることがつながっていることを子どもたちに伝えていただきたいです。

傍聴者退席

(2) 議案第22号 令和3年度二宮町一般会計補正予算(第12号補正)について

ー 非公開 ー

12時00分 閉会